

くらよし未来創造委員会事業計画（案）

くらよし未来創造委員会 委員長 北村 周平

1 総務省の過疎に関する都道府県別市町村のデータによると、鳥取県倉吉は近い将来、過疎
2 地となる可能性が高いというデータがあります。人口流出を防ぐために魅力のある地域を
3 創り地元を活性化し盛り上げることが重要です。そのために地域の宝である子ども達や青
4 年会議所メンバーを成長させ、人財を育成することが必要です。

5 まず、桜ずもうを開催しこの大会の原点である第53代横綱琴櫻関の顕彰をするととも
6 に子ども達においては、相撲を通じて緊迫した中で勝負する経験や礼儀や作法を学んで頂
7 き青少年を育成する場とします。また今回からこれまでの大会運営方法を見直し、新しい
8 チャレンジをすることで様々な視点から考え問題を解決しその過程でメンバーも成長しま
9 す。そして事業終了後、反省点を洗い出し新たな試みの検証をし、次年度の桜ずもうに繋
10 げます。7月にはブロック会長経験者をお招きしてLD研修事業を行い、これから活動す
11 る上で必要なリーダーシップを学びます。9月には東伯青年会議所との合同例会を実施し、
12 事業を通じて東伯青年会議所メンバーのこれまで培われたJCの知識を教えて頂き、また
13 卒会しても変わらぬ絆を繋げます。そして倉吉青年会議所メンバーの成長の一助にします。

14 桜ずもうを通じて子ども達が頑張ることの大切さと相手を思いやる心を育み成長し、
15 我々メンバーもそのような子ども達に携わることで事業の必要性を認識します。また桜ず
16 もうを倉吉青年会議所メンバー一丸となりやり遂げること、そして新しい試みでたくさん
17 のチャレンジをすることで人財を育てます。桜ずもうを通じて倉吉青年会議所メンバーが
18 リーダーになりまたはリーダーを育成することにより **active citizen** が増えより来年以降
19 も魅力のある桜ずもうや事業が構築できるようになり倉吉の未来の基礎を創っていきます。

20 <事業計画>

- 21 1. 桜ずもうの運営に関する事項
- 22 2. わんぱく相撲全国大会に関する事項
- 23 3. 会員個々の指導力開発に関する事項
- 24 4. 例会運営に関する事項

25